



“持続可能な社会の構築を目指して”  
富岡東中生が市の活性化策を提案 2/23

「持続可能な社会の構築を目指して～人と自然にやさしい未来が輝く阿南市への提言～」を研究主題に市の活性化策について調査・研究した富岡東中学3年生による成果発表会が行われました。生徒たちは13の研究テーマで班ごとに市役所などに出向いて聞き取り調査を行い、課題解決策を考察したりユニークなアイデアも出したりして、まちの将来像について意見交換しました。

2/26 阿南商工会議所創立50周年  
政治評論家・有馬晴海さんが講演

阿南商工会議所の「創立50周年記念会員大会」が夢ホールで開催され、400人が節目を祝いました。政治評論家・有馬晴海さんが「なるか!日本再生～今後のアベノミクスと地方創生～」をテーマに記念講演を行い、他自治体の例を挙げながら、「小さなアイデアが商店街に観光客を倍増させる起爆剤になることもある。住民が知恵をしばり、地域活性化につなげてほしい」と話しました。



“ありがとう旧庁舎”記念撮影会のようす。およそ300人の職員がベランダから手を振り、お世話になった庁舎に別れを告げました。(3月6日)



15地区400人の婦人会員が  
運動会で親睦深める 3/1

会員同士の親睦を深める「第5回阿南市婦人連合会大運動会」が阿南市スポーツ総合センターで行われ、15地区から400人が参加して、まり入れやスプーンリレーなどで心地よい汗を流しました。会長の紅露清恵さん(桑野町)は、「年々参加者も増え、横のつながりも強くなっています。婦人会に寄せられる地域の期待は大きく、今後も普及・啓発に努めていきたい」と話していました。



3/8 阿波学会による  
2年間の調査結果を発表

全国唯一の学術団体・阿波学会による「総合学術調査発表会」が文化会館で開催され、50人が専門家の報告に耳を傾けました。阿南市での調査は平成25年から2年間14分野で実施。今回発表した8分野のうち、植物相班は、徳島県植物研究会の木下覚さんが調査過程で確認した希少植物を紹介し、伊島で世界初の新種イシマスゲ(カヤツリグサ科)を発見したことを報告しました。



旧庁舎を描き残そう! 写真コンクール作品募集中 (P12参照)

49年の歴史に幕  
感謝の気持ちを込め看板設置 3/5

住民の生活、福祉向上を担う市職員、市議会議員の働く場として市の歴史とともに歩んできた市役所庁舎が解体されることになり、市職員が感謝の気持ちを込めて“49年間ありがとう”の看板を設置しました。市役所庁舎は昭和40年4月10日に着工し、総事業費2億6,500万円を投じて昭和41年3月31日に完成。49年間の務めを終え、平成27年3月27日に閉庁しました。

2/15 浜節句の復活をめざし  
那賀川連合協が環境整備活動

那賀川地域の35傍示で組織する那賀川町連合協議会の皆さんが、那賀川B&Gグラウンドで環境整備活動を行いました。かつて海辺で行われていた浜節句を復活させようと2年前から取り組んでおり、傍示の代表者など約70人が草刈りや桜の木の手入れを行いました。同連合会代表の角谷基喜さん(66歳)は、「地域の子供を招いて浜節句ができる日が楽しみ」と話していました。

